

5. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

本学子ども学科では教育の質の向上を図るため、学修成果可視化システム（アセスメント）の導入や点検・評価するための組織体制を整備し、以下の取り組みを実践しています。

- ① 学生に「学び」の成果を実感・点検・評価させるため、学期ごとに、各自の履修科目の到達目標に対する自己評価と学修成果の「指標」に対する自己評価を行わせ、教員による成績評価と比較するようにしています。
- ② 学期ごとに学生による授業評価を授業アンケートの形式で行い、その結果を教員にフィードバックし、授業改善に役立てています。
- ③ 本学で目指している教員の資質をより明確にするため、学修成果の「指標」として明文化するとともに、全ての開講科目を「指標」に関係づけ、シラバスに明示することにより、教員及び学生に授業科目の位置付けを意識させています。
- ④ 学生の「学修成果」に対する意識を促すため、学期ごとに学修成果の「指標」に対する到達度をレーダーチャートにより可視化し、学生は随時、ポータルにより確認することができるようになっています。
- ⑤ 社会的なニーズへのすみやかな対応や恒常的に教育の質について保証するための組織体制及びそこで構想された結果を FD・SD 活動等を通して全学的に共有するためのシステムが整備されています。
- ⑥ 学科教員研修として「学科教員セミナー」を実施しており、学科の職務分掌にも担当者を配置しています。学科教員セミナーは、実習指導の内容・方法の共有・検討、授業方法の情報共有・検討、他分野理解のための情報共有などが主な内容です。